

■前回部会(令和7年度第1回2025.8.19)での指摘事項

〈参考資料〉

対象項目	発言者	内容	回答	今後の検討項目	第2回資料
建造物の整備について(第1回資料4)					
玉石・砂利敷	小沢	玉石・砂利敷の区別について。	玉石は人が載るか？砂利敷は人が上を歩くのを想定している位置か。	佐々木	玉石・砂利敷の役割整理
	小野	基本的に砂利敷は建物範囲の外側。建物範囲の根拠になる。			
12号礎石建物跡	佐々木	北側に狭間石が並んでいるが対応する礎石がない。それでも建物は建つのか。			12号平面再検討 資料4参照
	小野	基本的に砂利敷は建物範囲の外側を根拠とすると12号礎石建物跡については、この規模で確認できる。			
13号礎石建物跡	佐々木	5号井戸が砂利と土で綿密に埋められており、範囲がここまできても良いかと思うが、根拠がなく不明。			
	小沢	13号建物軸が少しぶれている。水路に合うはずである。	軸の取り方を修正する。	計画協会	作図修正 資料4-4参照
	小野	12・13号はおそらく同じ幅になる。溝に規定される形で他の建物も決まる。			
14号礎石建物跡	小沢	向拝はない。動いていない礎石をどこまで信用できるか。	採用できるか不明	佐々木	14号平面再検討 資料4参照
	小野	建物範囲は15号にむけて狭間石が曲がる場所まで南側に延長する。			
	小沢	建物が南側に延びると、軒が(16号と)ぶつかる	難しい課題	小野	
	小野	切石敷がメインの景色(正面)だとすれば、建物が南北軸になっても良いのではないか。提案では東西軸の建物になっているが。			
	小沢	7尺2寸という柱間をどう考えるか。中心建物には3間×3間の9間の部屋がほしい。			
	小野	地方の建物の場合には9間の部屋は無くても良い。			
	小野	古代のように母屋に対して四面に庇というか縁が回った時に常に同じサイズの縁が回るということはない			
	小野	14号礎石建物は、有効なビットと礎石を改めて確認し、改めて検討した方が良いのではないか。			
	小野	八王子城では主殿と会所は庭側の小さい縁でつなげている。			
16号礎石建物跡	佐々木	北側20号石組水路は11号掘立柱に伴うもの。			16号平面再検討 資料4参照
	小野	右側黄色3つは、(11号に伴うので)取ってしまってもよい。そうするとこの庇も無くなって、砂利敷が生きてくる。渡り廊のようなものがあるが、これも無い話になる			
	小野	雨落ちの縁石かと書いてあるが、これは生きているのか。どちらにともなうか。	砂利とセットかと。雨落ちとして拾ってよいかは不明。	佐々木	
	小野	上り縁と考えられる礎石というのが、一個出てくるが、これも撤去でよいか。	回答なし		
15号礎石建物跡	小沢	北側の黄色い礎石を信用しないとすると、突出した部分は無い可能性あり。			15号平面再検討 資料4参照
14号・15号・16号礎石建物跡	小野	(21号石組水路付近?)石で塀状に何かやっている。その辺はそういう施設があるのではないか。			

対象項目	発言者	内容	回答	今後の検討項目	第2回資料	
建造物の整備について(第1回資料4)						
9号掘立柱建物跡	小野	北側にのびるのか。	北側は大きくカクランが入っている。西側の列だったらもう1個当てられるかもしれないが、ただ、ここには6号蔵がある。	佐々木	9号平面再検討	資料2-2参照
	佐々木	石組の池がある段階、埋まった段階の建物がある段階、建物が無くなって水を流している段階の3段階がある。				
	中島	1号池が立派な段階を選択するなら、9号掘立柱建物は無理に表現しなくてもよいかもしれない。	さりげなく表示する	小野	9号掘立柱建物の表現方法	
	小野	9号掘立柱建物は下が砂利敷となっている。高床の吹き抜けのような建物か。7号井戸は、庭園の景物としての井戸と考える。				
建物名称について	小沢	建物名の付け方は慎重に検討が必要。文献等で確認できれば良いが。または別の形で表現した方が良い。			建物名称の検討	
	小野	中心建物でも地方では、「表・奥」等様々ある。				
	中島	北条氏なら中央に倣って主殿、会所を使っているかもしれないが。元々京都から来ているため。表示上、「会所・主殿のような」(機能としての)表現にしておく。				
	小沢	複数可能性があれば残す。迂闊に推測・断定は避けた方が良くと思う。整備としての個々の説明で表現することにして、解説方法で使い分けてはどうか。				
	小野	整備としての個々の遺構の説明の部分と、いわゆるサイン計画みたいな形での説明と、VRみたいな形で立体的にそれが見えるという、3つくらいメディアでやると思う。				
	小野	会所・湯屋以外の用途が不明。北側の調査が進み、どうなるか次第で性格付けも変わってくるか。				

対象項目	発言者	内容	回答	今後の検討項目	第2回資料
全国の整備例・平場南側の整備について(第1回資料5)					
課題2: 建物に伴う礎石やピットについて	中島	柱間軸線に載らない礎石やピットは表現しない方がいいか。分からなくなる可能性がある。軸線に載るものは表現する。		移動した礎石の表現方法について	
	小野	礎石の抜き跡を、抜き跡として表現するのか、それとも礎石の抜き跡なのだから、表現なのだから、礎石と同等の石を置いて、礎石があったと表現するのか		礎石抜き跡の表現方法について	
	宮内	(礎石があるところないところなど)表現に複数パターンがあると来訪者は混乱するかもしれない。			
課題1: 狭間石と建物範囲の表現について	佐々木	狭間石を自然石ORレプリカで表現するか (狭間石を高く範囲表示を低くという提案に対して)狭間石を高くすると礎石も高くなる。狭間石のあるところは出っ張り、ないところは出っ張らないことになるので、そのあたりもイメージしないといけない。		狭間石と建物範囲の表現について。差別化。	資料3-1参照
	小野	シミュレーションして、いくつかの例を用意してもらい、(狭間石と建物範囲の)差別化した見せ方ができるのかどうか、それから耐久性と、視認性、どういう組み合わせがよいのかということで、用意していただけたらと思う。			
溝(石組水路)とそれに囲まれた空間について	小野	特徴的なところにある平石、板石をどのように表現するのか。溝(石組水路)が囲っているだけでなく、どこかに入口があり、建物間に通路がある。溝石についても意識しない場所と何かしらある。それらを表現できる整備にしたい。			
砂利敷と玉石の平面表示について	佐々木	砂利も玉石も見つかっていない場所は、砂利として復元するのか、ないものはないとして芝にするのか、ご意見伺いたい。	表示をする範囲内、遺構を表示する範囲とそれ以外の区域の境によるのでは	小野	
平面表示とレプリカ表現での表示について	佐々木	平面表示という部分とレプリカ表現というのが、それぞれ出てくるが、それが同じ場に存在した時に、なかった空間が浮き上がるのでは。そのあたりの整合性は。		平面表示とレプリカ表現の共存方法について	
	佐々木	3号切石からぐるっと回って、石組水路と井戸を伴う外周については、忠実につくるかたちをとって、その中の建物の表示については、ある程度人工物でやるというような区分けがあったほうがよいの			
	小野	耐久性・視認性を重視して整備。水路の仕様の違い、建物とセットになっている溝など、個々の特徴が表現できるようにする。自然石とレプリカを組み合わせるとのことである。		整備の考え方について整理	
	小野	基本的には再現で表現する。本物の遺構を展示するところは新補もあるが、両方を混在させるのは難しいかもしれない。			
3号切石敷の立石	佐々木	立石は実物を保管しており、本物を使うことも可能。	GRCでレプリカ作成し建てておいて、本物は展示施設で展示するほうがよいのでは。	小野	
	小野	箕輪城の整備ではレプリカを作成しており、本物は展示している。切石も含めてレプリカをどの程度表現できるか。	切石はベストな状態の3Dではない。	佐々木	取り上げた立石・レプリカの使い方
			写真を参考にテキストチャーを付けることになる。	山田	
9号掘立柱建物跡	小野	9号掘立柱建物は、範囲と穴だけ表現して、内側を砂利敷にするか。		整備の表現方法	資料2-2参照
かわらけ廃棄土坑	小野	かわらけ廃棄土坑の表現は、廃棄土坑の意味の表現、陶板で整備する場合・立体表示する場合のメリット・デメリットを比較。		整備の表現方法	資料3-1参照
	小野・佐々木	3Dデータは精度をもっているのか。			
16号礎石建物跡	中島	オレンジ(黄色)のピットに引きつけられて、食い違いを想定。ピットは11号掘立柱建物跡に伴うので、再検討必要。		整備の表現方法	資料4参照
	小野	間仕切りしないという原則なので、2部屋に分かれるかの検討は不要。		整備の表現方法	
3号切石敷遺構	小野	切石遺構の分断している範囲は、表現しない話だったが、方法を変えて表現した方が良いか。繋がっていないのは分かりにくいかもしれない。切石敷遺構の推定の範囲を確認しておきたい。	3号切石敷遺構は調査から想定できる範囲・できない範囲がある。	佐々木	遺失箇所の検討
					資料3-2参照